



(お知らせ)
社会の発展と共に満150年を迎えました！
～近代測量150年 大分県の「道の駅なかつ」でパネル展を開催～

本年(2019年)は、明治政府に近代測量を行う機関が設置された1869年(明治2年)から満150年に当たります。国土地理院及び関係団体は「近代測量150年」と位置づけています。この近代測量150年の節目に、大分県の「道の駅なかつ」でパネル展を開催します。

2019年は、明治政府に近代測量を行う機関として、国土地理院の前身である「みんぶくあんしよむつかさこせまらちず民部官庶務司戸籍地図かかり掛」が設置された1869年(明治2年)から満150年に当たります。

国土の開発事業の土台と言える測量・地図作製は、国の基本的な形を築き上げた多岐にわたる近代化への国家プロジェクトの一つとも言えます。

明治から平成、そして令和へ、国土を正確に把握し、管理するために実施した測量や地図作製は、第二次世界大戦以降の戦後復興、高度経済成長、防災対策等のインフラ整備の支えとなり、社会に果たす役割は非常に大きいものになっています。

今回、大分県の道の駅なかつでパネル展を開催し、社会の発展を支えてきた近代測量の歩みを紹介します。

さらに、人工衛星を利用した測量、ウェブ地図「地理院地図」、近年頻発する災害への対応など、国土地理院のさまざまな取組も合わせて展示します。九州管内16箇所で開催していく予定です。

1. 開催期間

令和元年8月29日から9月29日

2. 開催場所

道の駅「なかつ」

(大分県中津市大字加来814番地)

3. 内容

「近代測量150年」及び「国土地理院の取組」に関するパネル展示

※取材を希望される方は、九州地方測量部
(092-411-7903)へ事前にご連絡ください。

「近代測量150年」とは

2019年は、明治政府に近代測量を行う機関が設置された明治2年(1869年)から満150年に当たります。

国土交通省国土地理院では、「近代測量150年」の節目に、これまでの歩みと発展を明らかにするとともに、測量・地図作成の役割や重要性について理解を深めていただくため、全国の「道の駅」においてパネル展を開催しています。

明治
1909年(明治42年)

大正
1916年(大正5年)

昭和
1963年(昭和38年)

平成
地理院地図

そして新しい時代

国土交通省 国土地理院

(問い合わせ先)

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎 国土交通省国土地理院
九州地方測量部 次長 山本 宏章 TEL 092-411-7902 (直通)
管理課長 石川 明彦 TEL 092-411-7903 (直通)
FAX 092-411-7882